

【演習】

強度行動障害と コミュニケーション

－言葉のわからない人の疑似体験－

長葭 康記

発達障がい者支援センターウィズ

演習で使う物

指示書A・B

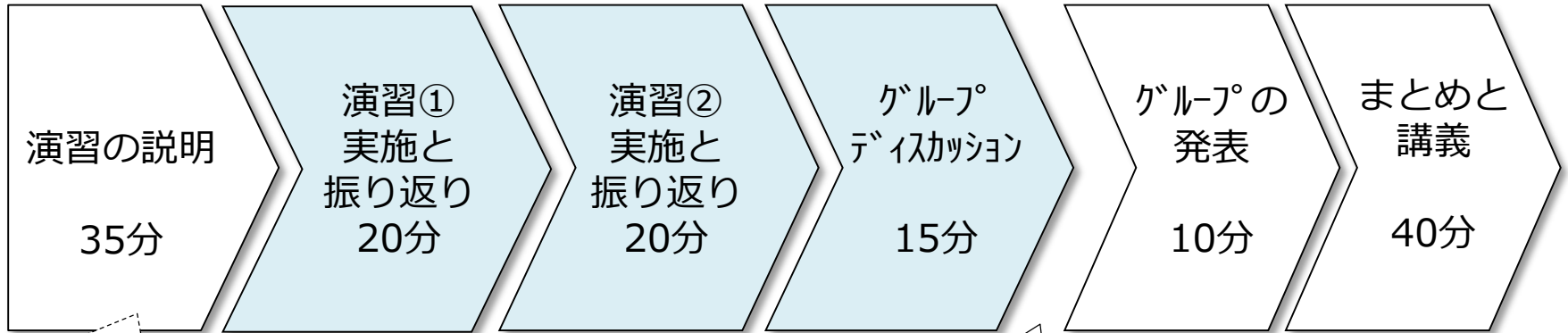
演習のねらい

この時間は、話しことばが「分からない」「伝えられない」状況を疑似体験します。行動障害が起きる原因のひとつに、この「分からない」「伝えられない」があります。

【ポイント】

- ① 話しことばを「理解しにくい」人たちの気持ちを理解する
- ② 話しことば以外の方法で「伝える」工夫を行う
- ③ 話しことばに依存した日常の支援を振り返る

演習の流れ



演習のデモンストレーションを行います

休憩10分

演習の概要（デモンストレーション①）

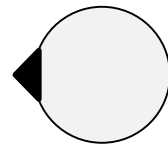
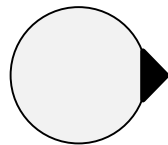
- 少々複雑な演習を行いますので、デモンストレーションを行います。
- 会場から2人に出てきていただき、デモンストレーションに協力してもらいます。

○○さん、●●さん、前に出てきて下さい。

デモンストレーションの役割

長葎：援助者

援助者は、モデルに対して、聞き覚えのない外国語で指示を出す

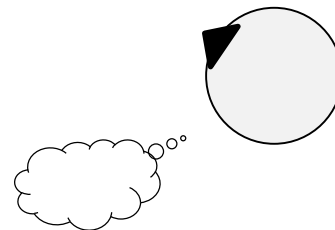


○○：モデル

モデルは、援助者の出した指示に従い、アクションして下さい

●●：モデルサポート

モデルサポートは、モデルの気持ちを汲んで観察して下さい（何もアクションしない）



演習の概要 (デモンストレーション②)

デモンストレーションの流れ

長葎：援助者

○○：モデル

●●：モデルサポート

○X△●■○…
(話しことばのみ)

援助者の指示に
従って下さい

モデルの気持ちになり
観察

不正解なら

○X△「日本語」○
(話しことばのみ)

援助者の指示に
従って下さい

モデルの気持ちになり
観察

不正解なら

○X△「日本語」○
(ジェスチャー入り)

援助者の指示に
従って下さい

モデルの気持ちになり
観察

不正解なら

○X△「日本語」○
(ありとあらゆる手段駆使)

援助者の指示に
従って下さい

モデルの気持ちになり
観察

演習の概要（デモンストレーション③）

質問タイム

■ モデルサポートに質問します

- ① 結果的にはどういう指示だったと思いますか？
- ② はじめから振り返ってみましょう。話しことばのみのときモデルはどう感じていたと思いますか？
- ③ 日本語が混ざることで、何かヒントになっていましたか？
- ④ 身振りや動作が加わってやすくなっていたでしょうか？
- ⑤ 具体的にどのようなことが手がかりになっていたと思いますか？
- ⑥ 指示がわからない時、モデルはどのような気持ちだったと想像しますか？

■ モデルに、モデルサポートの回答は合っていたかどうか感想を述べてもらいます

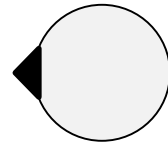
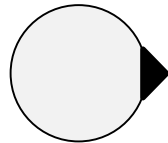
演習の概要（デモンストレーション④）

- 同じ演習をもう一度行います
- 援助者は変更ありません
- モデルとモデルサポートは交代します

デモンストレーションの役割

長葎：援助者

援助者は、モデルに対して、聞き覚えのない外国語で指示を出す

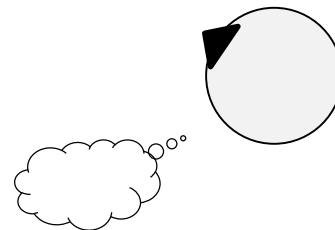


●●：モデル

モデルは、援助者の出した指示に従い、アクションして下さい

○○：モデルサポート

モデルサポートは、モデルの気持ちを汲んで観察して下さい（何もアクションしない）



演習の概要 (デモンストレーション⑤)

デモンストレーションの流れ

長葎：援助者

●●：モデル

○○：モデルサポート

○X△●■○・・・
(話しことばのみ)

援助者の指示に
従って下さい

モデルの気持ちになり
観察

不正解なら

○X△「日本語」○
(話しことばのみ)

援助者の指示に
従って下さい

モデルの気持ちになり
観察

不正解なら

○X△「日本語」○
(ジェスチャー入り)

援助者の指示に
従って下さい

モデルの気持ちになり
観察

不正解なら

○X△「日本語」○
(ありとあらゆる手段駆使)

援助者の指示に
従って下さい

モデルの気持ちになり
観察

演習の概要（デモンストレーション⑥）

質問タイム

■ モデルサポートに質問します

- ① 結果的にはどういう指示だったと思いますか？
- ② はじめから振り返ってみましょう。話しことばのみのときモデルはどう感じていたと思いますか？
- ③ 日本語が混ざること、何かヒントになっていましたか？
- ④ 身振りや動作が加わってやすくなっていたでしょうか？
- ⑤ 具体的にどのようなことが手がかりになっていたと思いますか？
- ⑥ 指示がわからない時、モデルはどのような気持ちだったと想像しますか？

■ モデルに、モデルサポートの回答は合っていたかどうか感想を述べてもらいます

■ 援助者が「オーバ」と「ジヨグ」ということばを何度も使っていましたが、日本語に置き換えるとどういう意味だと思いますか？

演習の援助者は、日本語を使えません。「指示」の内容と、「オーバ」「ジヨグ」だけしか話せません。

演習① | 概要説明

- グループ単位で演習を行います。演習①は2回実施します。
- グループ名を最初に決めて下さい
- 各自の役割分担は次のスライドの通りです

注意点

- 演習が開始されたら、援助者は日本語を話せません。援助者以外の皆さんも日本語を話さないで下さい。また、ヒントになるような表情や身振り、笑い声も原則禁止です
- モデルは援助者からの指示された内容を想像し、何らかのアクションを行って下さい。「照れ」「過剰な演技」は厳禁です
- 指示の次のステップに移るタイミングは、私（長葭）が指示します。それまでは、そのステップを繰り返し実施して下さい

演習① | 役割分担

1回目：台詞①

No. ①	援助者	モデルに対して、聞き覚えのない外国語で指示を出す
No. ②	モデル	援助者の出した指示に従い、アクションする
No. ③	援助者サポート	援助者の横に立ち、援助者が伝達するための台詞を見せる
No. ④	モデルサポート	モデルの気持ちを汲んで観察し、終了後その内容を記録者に伝える
No. ⑤	司会	指示書（台詞）の受け取り係 振り返りの進行役
No. ⑥	記録	演習後の振り返り内容を記録する

演習① | 準備に入ります

- これから、1分少々時間で、グループ名を決めて下さい
- グループ名が決まったら、「司会」の方に指示書（台詞）を配ります。取りに来て下さい（指示書はしばらくそのまま持っていて下さい）
- 演習は、全員が立って行います。他のグループとぶつからない演習場所を確保して下さい（遠くまで行くと演習がやりづらくなります）
- 机上にテキストや筆記用具等が置いてあると思いますが、そのままの環境で演習を行います（片付けません）
- 「モデル」の人が他のグループの動きが見えない向きに立って下さい
- 「司会」は「援助者サポート」に指示書を渡して下さい。指示書は、「援助者」と「援助者サポート」だけが見るものです
- 注意点を思い出して下さい

日本語禁止、照れ笑い・過剰演技禁止、同じステップ繰り返し

「オーバ」と「ジョグ」の使い方は？

演習① | スタート

1回目：台詞①

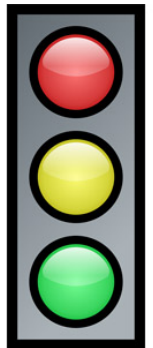
モデルが正解したら、すべてのグループが終了するまで「座って」
「静かに」待機して下さい

役割分担は大丈夫？

各自準備はOK？

では、

はじめましょう



話しことばで！

一部日本語を加えて！

ジェスチャー・身振りも！

ありとあらゆる手がかりを！

演習① | 役割分担の交代

2回目：台詞②

No. ①	記録	演習後の振り返り内容を記録する
No. ②	司会	指示書（台詞）の受け取り係 振り返りの進行役
No. ③	モデルサポート	モデルの気持ちを汲んで観察し、 終了後その内容を記録者に伝える
No. ④	援助者サポート	援助者の横に立ち、援助者が伝達 するための台詞を見せる
No. ⑤	援助者	モデルに対して、聞き覚えのない 外国語で指示を出す
No. ⑥	モデル	援助者の出した指示に従い、アク ションする

演習① | 準備に入ります

2回目：台詞②

- 「援助者サポート」は指示書（台詞）を、1回目の「援助者サポート」からもらって下さい。
- 演習は、全員が立って行います。他のグループとぶつからない演習場所を確保して下さい（遠くまで行くと演習がやりづらくなります）
- 机上にテキストや筆記用具等が置いてあると思いますが、そのままの環境で演習を行います（片付けません）
- 「モデル」の人が他のグループの動きが見えない向きに立って下さい
- 「司会」は「援助者サポート」に指示書を渡して下さい。指示書は、「援助者」と「援助者サポート」だけが見るものです
- 注意点を思い出して下さい

日本語禁止、照れ笑い・過剰演技禁止、同じステップ繰り返し
「オーバ」と「ジョグ」の使い方は？

演習① | スタート

2回目：台詞②

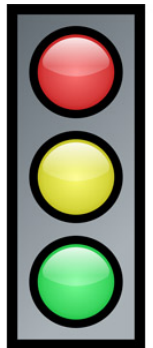
モデルが正解したら、すべてのグループが終了するまで「座って」
「静かに」待機して下さい

役割分担は大丈夫？

各自準備はOK？

では、

はじめましょう



話しことばで！

一部日本語を加えて！

ジェスチャー・身振りも！

ありとあらゆる手がかりを！

演習① | 振り返り

- グループごとに、演習①を振り返ります
- 2回目の「司会」は進行を、「記録」は要点議事録をつけてください
- 最初に「モデルサポート」の意見を詳細に聞いて下さい
- その後、他の意見を聞き出して下さい
 - ① 結果的にはどういう指示だったと思いますか？
 - ② はじめから振り返ってみましょう。話しことばのみするときモデルはどう感じていたと思いますか？
 - ③ 日本語が混ざること、何かヒントになっていましたか？
 - ④ 身振りや動作が加わってやすくなっていたでしょうか？
 - ⑤ 具体的にどのようなことが手がかりになっていたと思いますか？
 - ⑥ 指示がわからない時、モデルはどのような気持ちだったと想像しますか？
- 時間は〇時〇分までです。司会は時間を気にしながら進行して下さい
- 「援助者」の意図は「モデル」にうまく通じたでしょうか？

演習② | 役割分担の交代

1回目：台詞①

No. ①	モデルサポート	モデルの気持ちを汲んで観察し、終了後その内容を記録者に伝える
No. ②	記録	演習後の振り返り内容を記録する
No. ③	援助者	モデルに対して、聞き覚えのない外国語で指示を出す
No. ④	モデル	援助者の出した指示に従い、アクションする
No. ⑤	援助者サポート	援助者の横に立ち、援助者が伝達するための台詞を見せる
No. ⑥	司会	指示書（台詞）の受け取り係 振り返りの進行役

演習② | 準備に入ります

- 「司会」の方に指示書（台詞）を配ります。取りに来て下さい（指示書はしばらくそのまま持っていて下さい）
- 演習は、全員が立って行います。他のグループとぶつからない演習場所を確保して下さい（遠くまで行くと演習がやりづらくなります）
- 机上にテキストや筆記用具等が置いてあると思いますが、そのままの環境で演習を行います（片付けません）
- 「モデル」の人が他のグループの動きが見えない向きに立って下さい
- 「司会」は「援助者サポート」に指示書を渡して下さい。指示書は、「援助者」と「援助者サポート」だけが見るものです
- 注意点を思い出して下さい

日本語禁止、照れ笑い・過剰演技禁止、同じステップ繰り返し
「オーバ」と「ジョグ」の使い方は？

演習② | スタート

1回目：台詞①

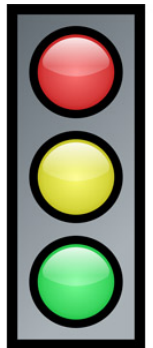
モデルが正解したら、すべてのグループが終了するまで「座って」
「静かに」待機して下さい

役割分担は大丈夫？

各自準備はOK？

では、

はじめましょう



話しことばで！

一部日本語を加えて！

ジェスチャー・身振りも！

ありとあらゆる手がかりを！

演習② | 役割分担の交代

2回目：台詞②

No. ①	援助者サポート	援助者の横に立ち、援助者が伝達するための台詞を見せる
No. ②	モデル	援助者の出した指示に従い、アクションする
No. ③	記録	演習後の振り返り内容を記録する
No. ④	司会	指示書（台詞）の受け取り係 振り返りの進行役
No. ⑤	モデルサポート	モデルの気持ちを汲んで観察し、 終了後その内容を記録者に伝える
No. ⑥	援助者	モデルに対して、聞き覚えのない 外国語で指示を出す

演習② | 準備に入ります

2回目：台詞②

- 「援助者サポート」は指示書（台詞）を、1回目の「援助者サポート」からもらって下さい。
- 演習は、全員が立って行います。他のグループとぶつからない演習場所を確保して下さい（遠くまで行くと演習がやりづらくなります）
- 机上にテキストや筆記用具等が置いてあると思いますが、そのままの環境で演習を行います（片付けません）
- 「モデル」の人が他のグループの動きが見えない向きに立って下さい
- 「司会」は「援助者サポート」に指示書を渡して下さい。指示書は、「援助者」と「援助者サポート」だけが見るものです
- 注意点を思い出して下さい

日本語禁止、照れ笑い・過剰演技禁止、同じステップ繰り返し
「オーバ」と「ジョグ」の使い方は？

演習② | スタート

2回目：台詞②

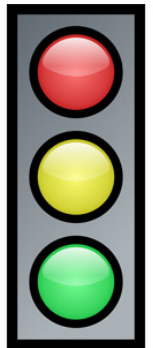
モデルが正解したら、すべてのグループが終了するまで「座って」
「静かに」待機して下さい

役割分担は大丈夫？

各自準備はOK？

では、

はじめましょう



話しことばで！

一部日本語を加えて！

ジェスチャー・身振りも！

ありとあらゆる手がかりを！

演習② | 振り返り

- グループごとに、演習②を振り返ります
- 2回目の「司会」は進行を、「記録」は要点議事録をつけてください
- 最初に「モデルサポート」の意見を詳細に聞いて下さい
- その後、他の意見を聞き出して下さい
 - ① 結果的にはどういう指示だったと思いますか？
 - ② はじめから振り返ってみましょう。話しことばのみのときモデルはどう感じていたと思いますか？
 - ③ 日本語が混ざること、何かヒントになっていましたか？
 - ④ 身振りや動作が加わってやすくなっていたでしょうか？
 - ⑤ 具体的にどのようなことが手がかりになっていたと思いますか？
 - ⑥ 指示がわからない時、モデルはどのような気持ちだったと想像しますか？
- 時間は〇時〇分までです。司会は時間を気にしながら進行して下さい
- 「援助者」の意図は「モデル」にうまく通じたでしょうか？

ディスカッション

- 演習全体についてグループでディスカッションして下さい
- 演習②の2回目の「司会」と「記録」は、そのまま役割を続けて下さい。「援助者」は、自動的に「発表者」になります
- ディスカッションのテーマは下の4つです

テーマ

1. 話しことばの理解が難しい人の戸惑いを体験してもらいましたが、もう一度、どういう気持だったか話し合ってください
2. 様々な手がかりが出されましたが、援助者が意図した、あるいは意図していない、どのような手がかりが有効でしたか
3. 指示する側も、伝わらない、わかってくれないストレスを感じたと思います。どういう気持だったかを話し合ってください
4. 通常の支援の中で、このような経験はありますか

ディスカッションを はじめてください



グループワーク後、10分間休憩をとってください。

まとめ | 演習で気づいたこと

- いくつかのグループの「発表者」から、話し合われたこと、自分で気づいたことを発表してもらいます。
- 最初に、グループ名を発表して下さい。その名前を決めた理由もコメントしてください。
- 4つのテーマについて、順に報告して下さい。
- 発表したいグループ挙手お願いします・・・

体験を通して確認できたこと①

- 相手に与える印象
 - 表情：怖いと萎縮、不安や迷い、にこやか
 - 視線：その方向に手がかりがあると思ってしまう
 - 距離：近すぎると圧迫感、離れていると捉えにくい
 - 口調、態度、姿勢、位置
- 伝える際には、言葉以外の要素も影響を与えることを意識する

体験を通して確認できたこと②

- 手がかりになるもの
 - 日本語（その人にとって理解できる言葉）
 - わかる単語、見えているものに反応する
 - 日常的なことは、少ないヒントでも推測して行動できてしまう
 - 習慣にない行動は誤解されてしまうこともある
 - 絵や写真があったらもっと伝えやすい
 - 期待する行動が曖昧なものは伝えにくい
- 具体的で視覚的な手がかりで伝えられると有効だが、環境整理も必要

体験を通して確認できたこと③

- 指示の出し方
 - 指示を出す効果的なタイミングがありそう
 - 行動を起こしている最中に指示をされると気づかない、否定や修正として受けとってしまう
 - わかる内容が含まれていても、一度にたくさん伝えられると理解できない
 - 細かく区切りすぎると全体がわからない
 - 確認を求めたときに反応されないと否定と捉えてしまう
- 行動の区切りや相手が求めてきたタイミングで、適切な単位の指示で伝える

体験を通して確認できたこと④

- 否定や修正
 - 自信がない中で行動を否定・修正されると怖い
 - 何度も否定され、修正されるとやる気がなくなる
 - 否定や修正は重なると警戒心をもたせ、不信感にもつながる
- 肯定的な表現で伝える、初めから成功体験をしてもらえるよう配慮する

体験を通して確認できたこと⑤

- わからないことのストレス
 - 理解できない時間は苦痛で不安になる
 - わかる手がかりは光明のように感じた
 - OKがでたら安堵感と解放感
 - わからない指示は聞かなくなる
 - いつまでやるのかわからないことも不安
 - 結果的にできても、やらされている感が強く、達成感がない
- 言葉が理解しにくい人たちにとって、言葉だけの指示はストレスが高い

体験を通して確認できたこと⑥

- 伝える側の気づき
 - 言葉以外に伝えるためのバリエーションが少ない
 - 意図していないことが相手の手がかりになっていた
 - 同じように伝えても、相手によってとらえ方が異なる
 - うまく伝えられないもどかしさ
 - 演習は一定時間で終了するが、彼らのわからなさは一生続くもの
- 理解できるように伝えるための配慮が日常的に必要なこと
- 伝えたいことが伝えられないストレス

コミュニケーション

障害をもった人



表現／表出性

支援者



相互作用による
「やりとり」

理解／受容性

自閉症の人たちの困難さ

- 言語理解の難しさ

- 話し言葉に注意を向ける
- 耳で聞いた言葉から意味を理解する
- 場面とセットになって記憶する
- 字義どおりの理解
- 言葉でないコミュニケーションの理解
- 視覚優位

- 表現の難しさ

- 自発的にかかわろうとする気持ちが乏しい
- 言葉があっても気持ちを伝える手段にならない
- 場面や人が変わると伝えられない
- 独特なイントネーションや言葉の選び方
- オウム返し

日頃のかかわり方を見直してみよう

相手の立場にたって考えなさい

もうしませんは？
どうしたらいいと思う

わかったら「はい」と返事をしなさい

何度言ったらわかるの、い
いかげんにしなさい！

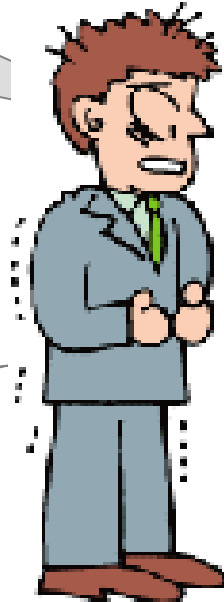
今度がんばろうね

そんなことやっていい
と思うの？

次はなにをするのかな？

ちゃんとしない人はご褒美
なし、反省しなさい

あ、またやってる
お母さんに言おうかな？



まず「わかる」「できる」を支援する

◆具体的な情報提供

- 具体物
- 写真や絵
- 単語や文章
- 環境や場面
- 指さしやジェスチャー
- モデルや見本の提示

◆情報提供の工夫

- 一度に伝える情報量、ペース、タイミング
- 伝える人の表情、視線、態度、距離などを操作
- 肯定的な伝え方、指示の階層を意識する

◆情報の整理（構造化の活用）

明日からの支援のために

- 言葉だけでコミュニケーションすることが苦手な人たちであることを認める。
- 行動を観察して「わからない感」「伝えられなさ」を推測する。
 - 障害特性から考える
 - かんしゃくやパニックも表現の一つ
 - かかわりを増やすことよりも、何をすればよいかを理解でき、自立して暮らすための支援を優先する
 - 危機回避の手段、言葉以外のコミュニケーション手段を積極的に活用する
- 苦手な方法を押しつけるのではなく、得意な方法を使って便利に生活することを支える。